



# 平泉町

# 防災マップ

安全・安心なまちづくり

令和3年 改訂版



# 町民のみなさまへ

## みなさん一人ひとりが防災の主役

災害の備えは大丈夫でしょうか。近年、集中豪雨や台風などによる災害が相次いで発生しています。特に雨の降り方が局地化、集中化し全国各地で甚大な被害がでており、これらを踏まえた防災気象情報の改善や警戒レベルの導入などによる避難情報の改善がなされています。

また全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況において、風水害や地震などにより避難所を開設する場合には、十分な換気やスペースの確保など感染リスクを軽減する対応とともに、町民皆さんの事前の準備や避難が必要かどうかなどについて、災害時の対応が必要です。

そこで町では、町内における危険箇所や防災情報などを掲載した防災マップを更新しました。自然災害を防ぐことはできませんが、町民の皆さん一人ひとりや家族、地域ぐるみでの日ごろからの防災対策と、災害時の適切な対応により被害を軽減・防止することはできます。

ぜひ、ご家庭の目につくところにこの防災マップを備えていただき、家庭や地域での防災に対するお話をされる際などにご活用ください。

平 泉 町

## 索 引

町民のみなさまへ・索引・防災マップの使い方	1	わが家の防災対策&チェック	7
自らの命、家族の命を守るために!	2	わが家の防災メモ 非常時持出品の準備&チェック	8
風水害対策	3	災害時の感染症対策	9
土砂災害警戒区域等	4	指定緊急避難場所・指定避難所一覧	10
・土砂災害の種類	4	平泉町全体図	11・12
洪水ハザード情報について	5	平泉町防災マップ1~7	13~26
地震対策	6	防災情報収集方法、災害用伝言ダイヤル	裏表紙
		防災関係機関連絡先、奥付	

### 防災マップ の使い方

- 1 自宅の場所を確認しましょう**
  - ・家の場所を防災マップに書き込みましょう。
- 2 自宅周辺の危険なところを確認しましょう**
  - ・自宅の周辺に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などが無いか、確認しましょう。
- 3 避難する場所や避難ルートを確認しましょう**
  - ・災害別に緊急避難する場所を家族で相談し、避難ルートをマップに書き込みましょう。
  - ・実際に歩いて安全なルートを調べましょう。
- 4 危険な箇所、注意が必要な箇所に印(マーク)をつけよう**
  - ・物が落ちたり、倒れてくる(看板、ブロック塀、自動販売機など)。
  - ・土砂災害や浸水の危険がある(崖、むき出しの斜面、用水路など)。
- 5 災害が起きたときに役立つ場所に印(マーク)をつけよう**
  - ・飲み水が手に入る場所。
  - ・コンビニ、公衆電話、公衆トイレ、ガソリンスタンドなど。
- 6 防災マップの記事を活用しよう**
  - ・非常時持出品、非常時用備蓄品を確認しましょう。
  - ・「わが家の防災メモ」に家族情報を記入しましょう。

# 自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

## ステップ

①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- 防災マップを見て、土砂災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 避難場所（10ページ）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



## ステップ

②

行政機関から提供される防災情報<sup>※1</sup>について確認しましょう。

- 発令される避難情報等、国や都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。<sup>※2</sup>

警戒レベル	避難情報	避難行動	気象等情報	
			洪水浸水区域	土砂災害警戒区域
警戒レベル5	災害発生情報 <sup>※3</sup>	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	氾濫発生情報等	大雨特別警報等
警戒レベル4 (危険な場所から 全員避難)	避難勧告 <sup>※4</sup> 避難指示(緊急)	速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。	氾濫危険情報等	土砂災害警戒情報等
警戒レベル3 (危険な場所から 高齢者等は避難)	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	氾濫警戒情報 洪水警報等	大雨警報等
警戒レベル2		避難に備え、防災マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	氾濫注意情報 洪水注意報等	大雨注意報等
警戒レベル1		災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

- ※1 情報の入手方法については、裏表紙をご確認ください。
- ※2 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。
- ※3 災害発生情報は、災害が発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。
- ※4 避難指示(緊急)は、地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令されるものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。

# 風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

### 強風注意報・暴風警報

強風により被害が発生するおそれがあると予測される場合や暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予測される場合。

### 大雨注意報

大雨により被害が発生するおそれがあると予測される場合。

### 大雨警報

大雨により重大な災害が発生するおそれがあると予測される場合。

### 大雨特別警報

数十年に一度の大雨となるおそれが大きい場合。

上記以外に「記録的短時間大雨情報」があります。(1時間雨量が100mm以上)  
「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。  
これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。

## 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

## 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

## 台風

- 日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
- 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

## 集中豪雨

- 集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
- 発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。
- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を3日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるように準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！



### 地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。

# 土砂災害警戒区域等

## 土砂災害警戒区域

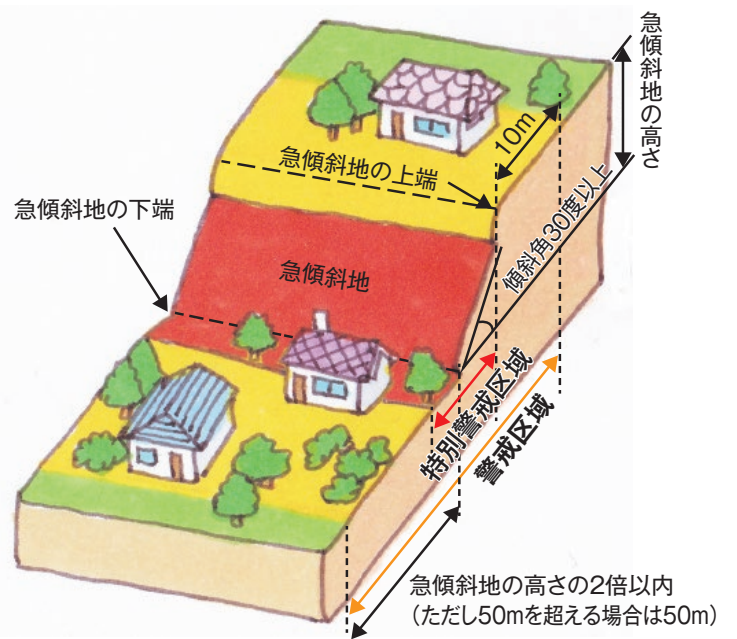
○土砂災害警戒区域は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危険が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。

- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
- 土砂災害警戒区域（地すべり）

## 土砂災害特別警戒区域

○土砂災害特別警戒区域は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。

- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域のイメージ（急傾斜地の崩壊）

# 土砂災害の種類

## がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、大きな被害となります。



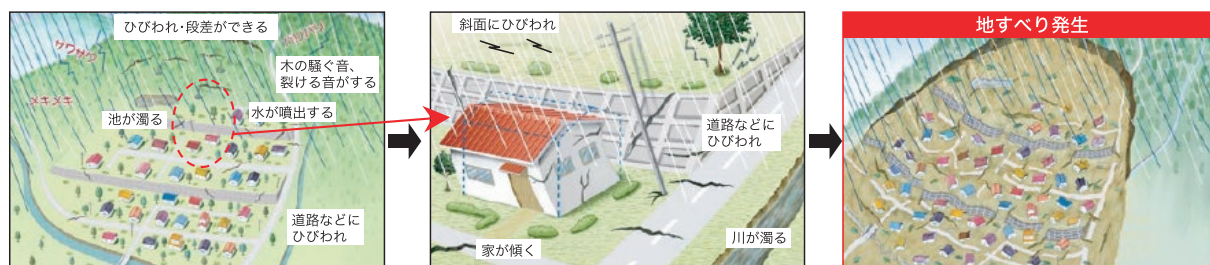
## 土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



## 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に大量の土の塊が移動するため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



・土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。また、前兆現象は、すべての場合において必ず起きるといった訳ではありません。

土砂災害の危険度参考情報については、岩手県土砂災害警戒情報システム (<http://sabo.pref.iwate.jp/>) で、リアルタイムに確認することができます。

# 洪水ハザード情報について

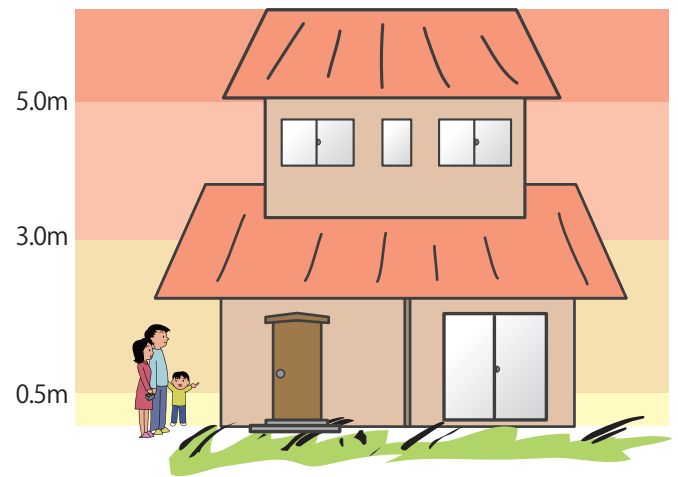
水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。  
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

## 1 説明

- 「平泉町防災マップ」に表示している北上川及び衣川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- この防災マップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。
- 浸水ランクの目安 想定した大雨の規模

（北上川 明治橋地点上流：流域の2日間総雨量 313mm  
明治橋地点下流：流域の2日間総雨量 264mm  
衣川 流域の2日間総雨量 466mm

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



## 2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

### 洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

### 洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

### 指定河川洪水予報など

- 北上川・衣川については、盛岡地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する岩手河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。北上川水系については水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき岩手県が「避難判断水位到達情報」を発表します。

## 3 避難時の注意点

### ①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
  - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない!

### ②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流れる場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

### ③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

### ④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。

### ⑤徒歩避難の原則

- ・自動車による避難は、交通渋滞を招いたり、浸水深が30cm以上の場合、排気口から水が流入したり、運転を制御する機器が冠水する場合があります。
- ・車による避難は、避難準備情報が出た初期の段階や、徒歩避難が困難な災害時要援護者等の移動だけにしましょう。

# 地震対策 地震発生!そんなときどうする

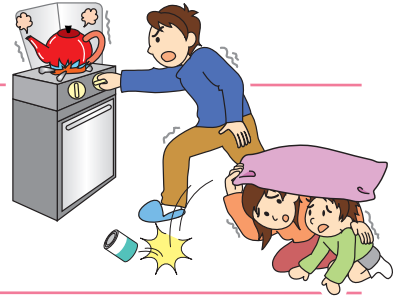
## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

**地震発生**

1~2分

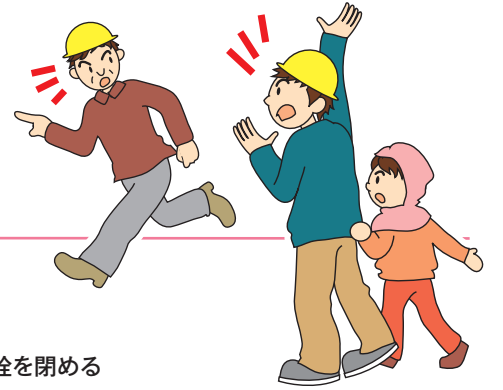
### 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意



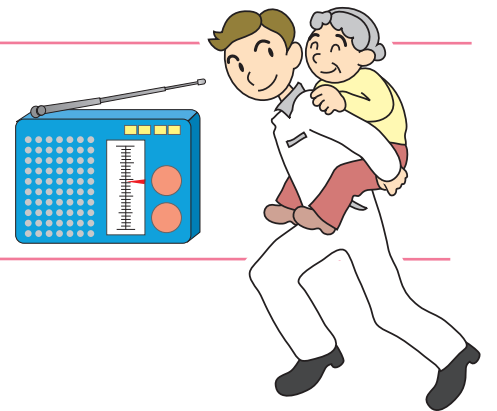
### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |             |                                    |                        |
|-------------|------------------------------------|------------------------|
| ●隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保                         | ●隣近所で助け合う              |
|             | ●行方不明者はいないか                        | ●ケガ人はいないか              |
| ●出火防止 初期消火  | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める |                        |
|             | ●消火器を使う                            | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |

3分

### ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●災害・被害情報の収集
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動 ●無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

10分  
数時間  
3日

## 屋内にいた場合

### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

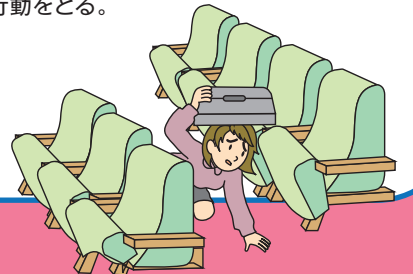


### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

### 劇場・ホール

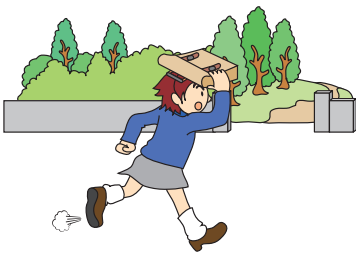
- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



## 屋外にいた場合

### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

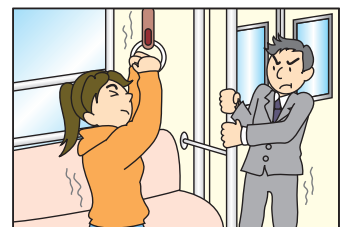


### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# わが家の防災対策&チェック

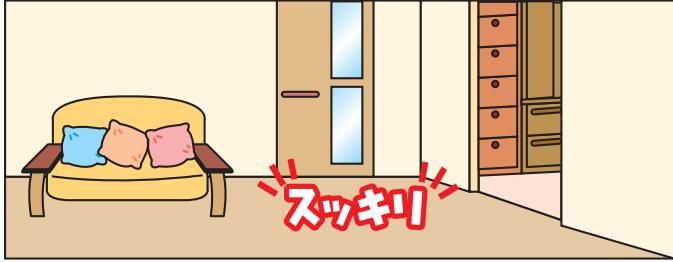
## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

# 1

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

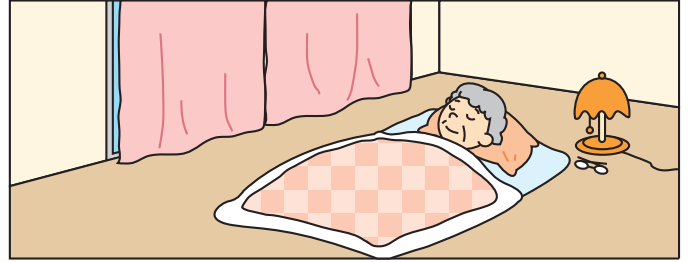
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるように配置換える。



# 2

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる危険性がある。



# 3

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



# 4

安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

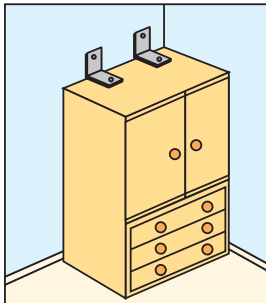
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

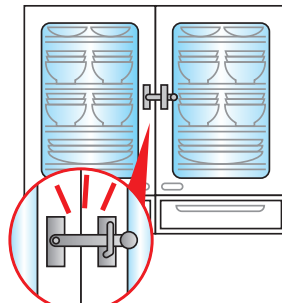
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



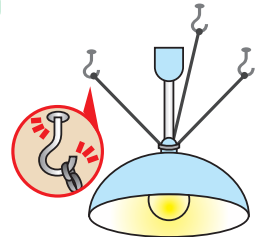
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



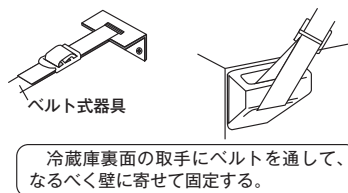
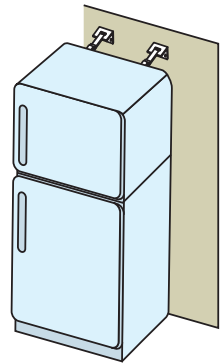
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



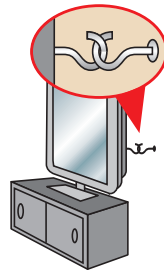
### 冷蔵庫

転倒防止用ベルトで固定します。



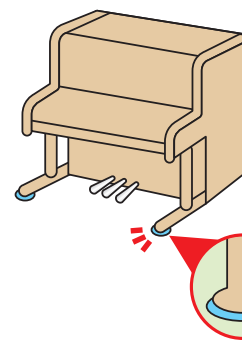
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさける)。



### ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 屋根

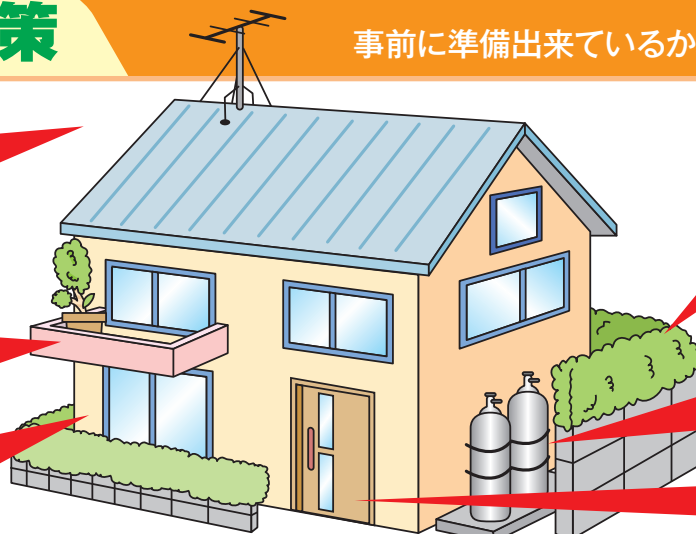
不安定な屋根のアンテナや、屋根がわらはは補強しておく。

### ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### 非常口の確保

# わが家の防災メモ

記入日	わが家の避難所
月	家族の集合場所
日	災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	会社・学校の電話番号

## 非常時持出品の準備&チェック

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

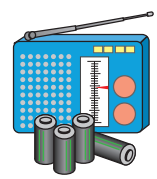
### 非常時持出品(例)

準備ができているか、チェック☑しましょう。

### 非常時用備蓄品(例)


災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

#### 携帯ラジオ




- ラジオ
- 電池(多めに用意)

#### 救急医薬品




- 常備薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 普段服用している薬
- 胃腸薬
- 胃腸薬
- 消毒薬

#### 貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書


#### 懐中電灯



- 懐中電灯
- 電池(多めに用意)


#### 非常食品

火を通さなくて食べられるもの、食器など



- カンパン
- 缶詰・レトルト食品
- ミネラルウォーター
- 粉ミルク・離乳食
- 缶切り・栓抜き
- 紙皿・紙コップ
- 水筒
- 箸・スプーン等

#### その他



- 携帯電話充電器
- ヘルメット・軍手
- 布テープ
- ビニール袋
- ラップフィルム
- 防寒具(時季による)
- タオル
- 紙おむつ
- 雨具
- ライター
- ハザードマップ(本書)

#### 飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

#### 非常食品



- お米(アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

#### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

#### その他

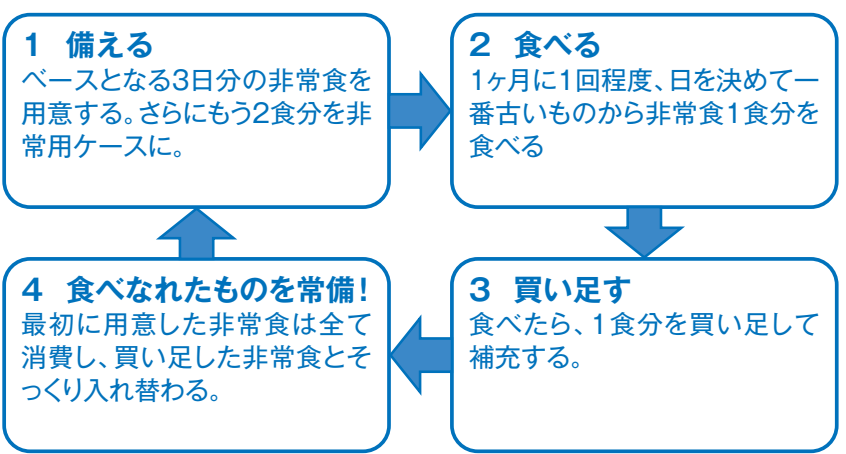


- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

## ローリングストック法とは

- ・「備蓄食料」と問われると、大部分の人が「賞味期限の長い食料を大量に買って置く」と思いがち。
- ・間違いではないが、こんな失敗は？
  - 賞味期限が知らないうちに過ぎてしまった。
  - 賞味期限が近いので、続けて備蓄品を食べた。

その名のとおり、食べながら(ローリング)、備蓄(ストック)する方法。

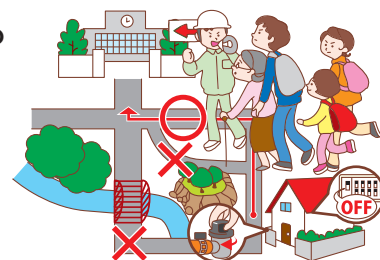


# 災害時の感染症対策

災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則です。町民一人ひとりが「**自らの命は自らが守る**」という意識を持ち、避難の際は**新型コロナウイルス等の「感染症対策」**を確実に行ってお互いに思いやりを持って適切な行動をとるよう心掛けましょう。

## 避難に関するポイント

- 避難先は、町が指定する避難場所ばかりではありません。**安全な親戚・知人宅に避難することも**考えてみましょう。この**【防災マップ】**をご活用いただき、日頃から近くの**避難場所は把握**しておきましょう。
- 避難所に避難する場合は**マスク・消毒液・体温計**をできるだけ自ら用意してください。
- 避難所に入るときや、避難所で生活しているときに発熱やせき、倦怠感などの症状がある場合は、すぐに申し出てください。
- 避難所では定期的な換気を心掛け、公共マナーを守り他人に迷惑をかけないようにしましょう。
- ソーシャル・ディスタンス**を保ち**3つの密(密閉、密集、密接)**を避けましょう。
- 感染症拡大防止対策のため、こまめな手洗いやマスクの着用、咳エチケットなど基本的な対策を徹底しましょう。
- 食事やトイレを使用する際にも、手洗いをを行うなど衛生面に配慮しましょう。
- 地震・台風・水害(洪水)・豪雨時の屋外の移動に車等は**非常に危険**です。やむをえず車中泊をする場合は安全な場所に止め、浸水しないよう周囲の状況を十分確認してください。車中泊の場合「**エコノミークラス症候群**」や「**夜間の安全確保**」にも注意してください。



## 新型コロナウイルス等の「感染症対策」で非常時持出品に加えたものの

- ① **マスク**(家族構成・場所・天候・季節に合わせて数日分用意)
- ② **アルコール消毒液**(町で用意できない可能性もあるため使い慣れたものを持参)
- ③ **ハンドソープ・固形せっけん**(家族または自分用を持参し避難所では共用しない)
- ④ **体温計**(町で用意できない可能性もあるため使い慣れたものを持参)
- ⑤ ティッシュ、ウエットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(可能な限り多めに)
- ⑥ 携帯トイレ(トイレは我慢しないこと、避難所のトイレが使えない場合に備える)
- ⑦ 使い捨てのビニール手袋(ドアノブ等、多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐ)
- ⑧ 使い捨てのビニールエプロン、ゴミ袋(避難所の運営協力やごみの処理など衛生環境に配慮)



# 平泉町指定緊急避難場所

指定緊急避難場所は赤文字で表示しています。

(例) ① 瀬原公民館

NO	施設・場所名	住所	対象とする異常な現象の種類						指定避難所との重複	地図掲載	
			洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	地震	大規模な火事	内水氾濫	火山現象		図番号	座標
①	瀬原公民館	平泉町平泉字瀬原	○	○	○	○	○	○	○	1	D-4
②	2区公民館	平泉町平泉字坂下	○	○	○	○	○	○	○	4	D-1
③	戸河内コミュニティセンター	平泉町平泉字広滝	○	○	○	○	○	○	○	3	E-2
④	4区ふれあいセンター	平泉町平泉字上窟	○	○	○	○	○	○	○	6	C-2
⑤	下達谷公民館	平泉町平泉字北沖	○	○	○	○	○	○	○	6	F-1
⑥	上平泉公民館	平泉町平泉字善阿弥	○	○	○	○	○	○	○	4	B-5
⑦	7区公民館	平泉町平泉字毛越	○	○	○	○	○	○	○	4	C-4
⑧	大佐公民館	平泉町平泉字宿	○	○	○	○	○	○	○	7	E-3
⑨	佐野公民館	平泉町平泉字高田	○	○	○	○	○	○	○	7	E-1
⑩	10区祇園公民館	平泉町平泉字上野台	○	○	○	○	○	○	○	4	E-5
⑪	平泉中学校	平泉町平泉字倉町	○	○	○	○	○	○	○	4	D-4
⑫	平泉小学校	平泉町平泉字倉町	○	○	○	○	○	○	○	4	D-3
⑬	平泉幼稚園	平泉町平泉字倉町	○	○	○	○	○	○	○	4	D-3
⑭	平泉保育所	平泉町平泉字倉町	○	○	○	○	○	○	○	4	D-3
⑮	志羅山児童館	平泉町平泉字鈴沢	○	○	○	○	○	○	○	4	E-3
⑯	12区公民館	平泉町平泉字泉屋	○	○	○	○	○	○	○	4	E-3
⑰	13区公民館	平泉町平泉字柳御所	○	○	○	○	○	○	○	4	E-2
⑱	平泉文化遺産センター	平泉町平泉字花立	○	○	○	○	○	○	○	4	D-2
⑲	14区公民館	平泉町長島字二反田	○	○	○	○	○	○	○	2	B-4
⑳	長部地区交流センター	平泉町長島字竜ヶ坂	○	○	○	○	○	○	○	2	A-5
㉑	16区公民館	平泉町長島字新田	○	○	○	○	○	○	○	5	B-1
㉒	長島保育所	平泉町長島字砂子沢	○	○	○	○	○	○	○	5	B-2
㉓	俄坂公民館	平泉町長島字俄坂	○	○	○	○	○	○	○	5	D-2
㉔	大平公民館	平泉町長島字束稲	○	○	○	○	○	○	○	5	E-1
㉕	18区公民館	平泉町長島字下西風	○	○	○	○	○	○	○	5	E-2
㉖	コミュニティセンター潤いの郷「悠悠」	平泉町長島字山谷	○	○	○	○	○	○	○	5	C-3
㉗	20区コミュニティセンター	平泉町長島字赤伏前	○	○	○	○	○	○	○	5	C-4
㉘	21区ふれあいセンター	平泉町長島字杉	○	○	○	○	○	○	○	5	B-2
㉙	長島小学校	平泉町長島字砂子沢	○	○	○	○	○	○	○	5	C-2
㉚	道の駅平泉	平泉町平泉字伽羅楽	○	○	○	○	○	○	○	4	E-2

# 平泉町指定避難所

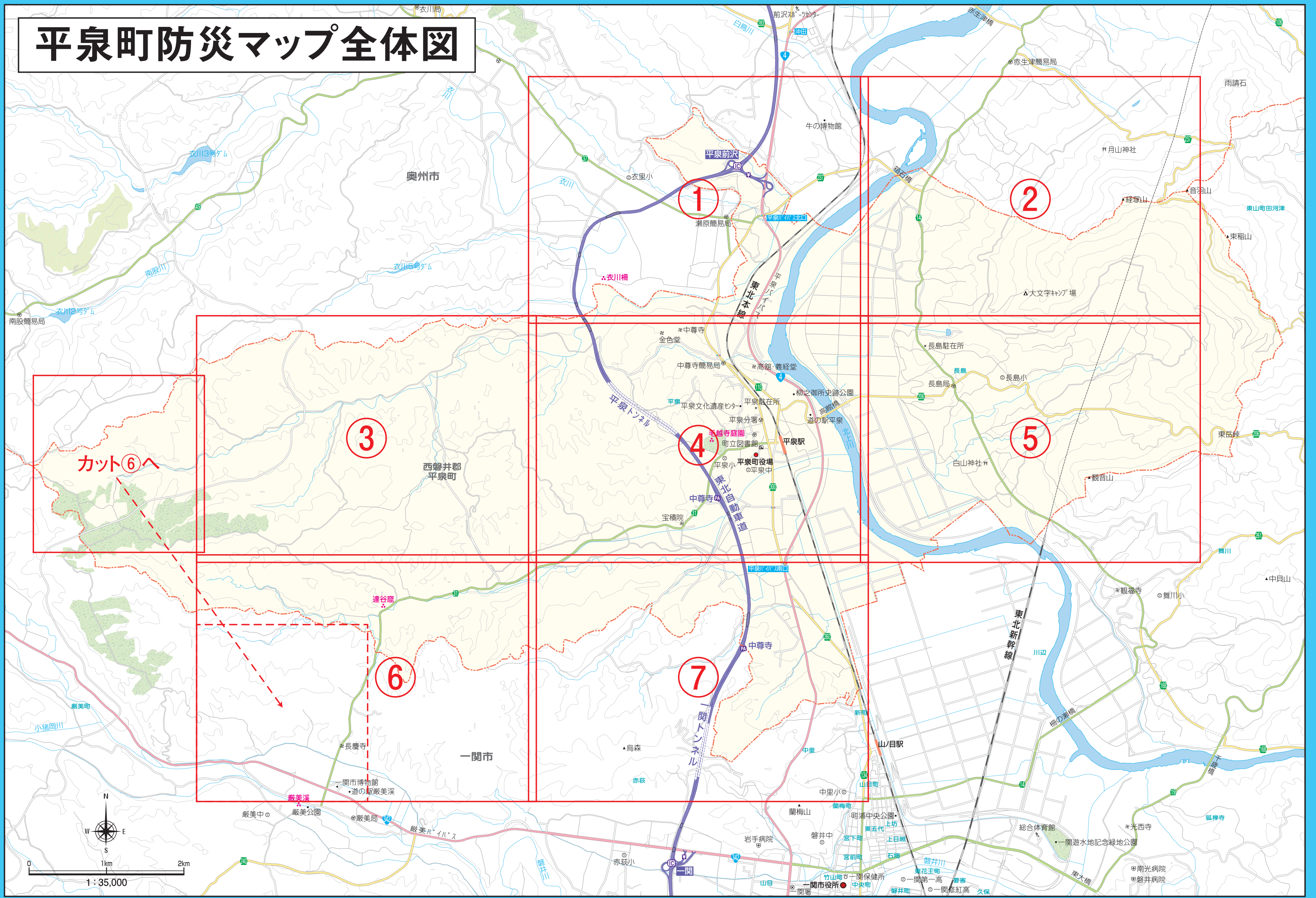
指定避難所は青文字で表示しています。

(例) ① 平泉中学校

NO	施設名	住所	管理担当連絡先	指定緊急避難場所との重複	地図掲載	
			電話番号		図番号	座標
①	平泉中学校	平泉字倉町 23	46-2205	○	4	D-4
②	平泉小学校	平泉字倉町 155	46-2202	○	4	D-3
③	平泉幼稚園	平泉字倉町 152	46-2575	○	4	D-3
④	平泉保育所	平泉字倉町 152	46-2767	○	4	D-3
⑤	平泉町公民館	平泉字花立 9-5	46-2010	○	4	D-2
⑥	平泉文化遺産センター	平泉字花立 44	46-4012	○	4	D-2
⑦	悠久の湯平泉温泉	平泉字大沢 1-1	34-1300	○	4	D-3
⑧	長島小学校	長島字砂子沢 33	46-2203	○	5	C-2
⑨	長島体育館	長島字砂子沢 167-2	46-2574	○	5	B-2
⑩	平泉町公民館長島分館	長島字砂子沢 167-2	46-2010	○	5	B-2

※ 指定緊急避難場所や指定避難所は、災害の規模や状況などを考慮し、開設されます。

# 平泉町防災マップ全体図



1	2	
3	4	5

土砂災害 凡例

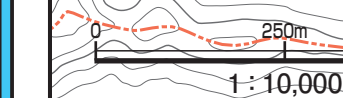
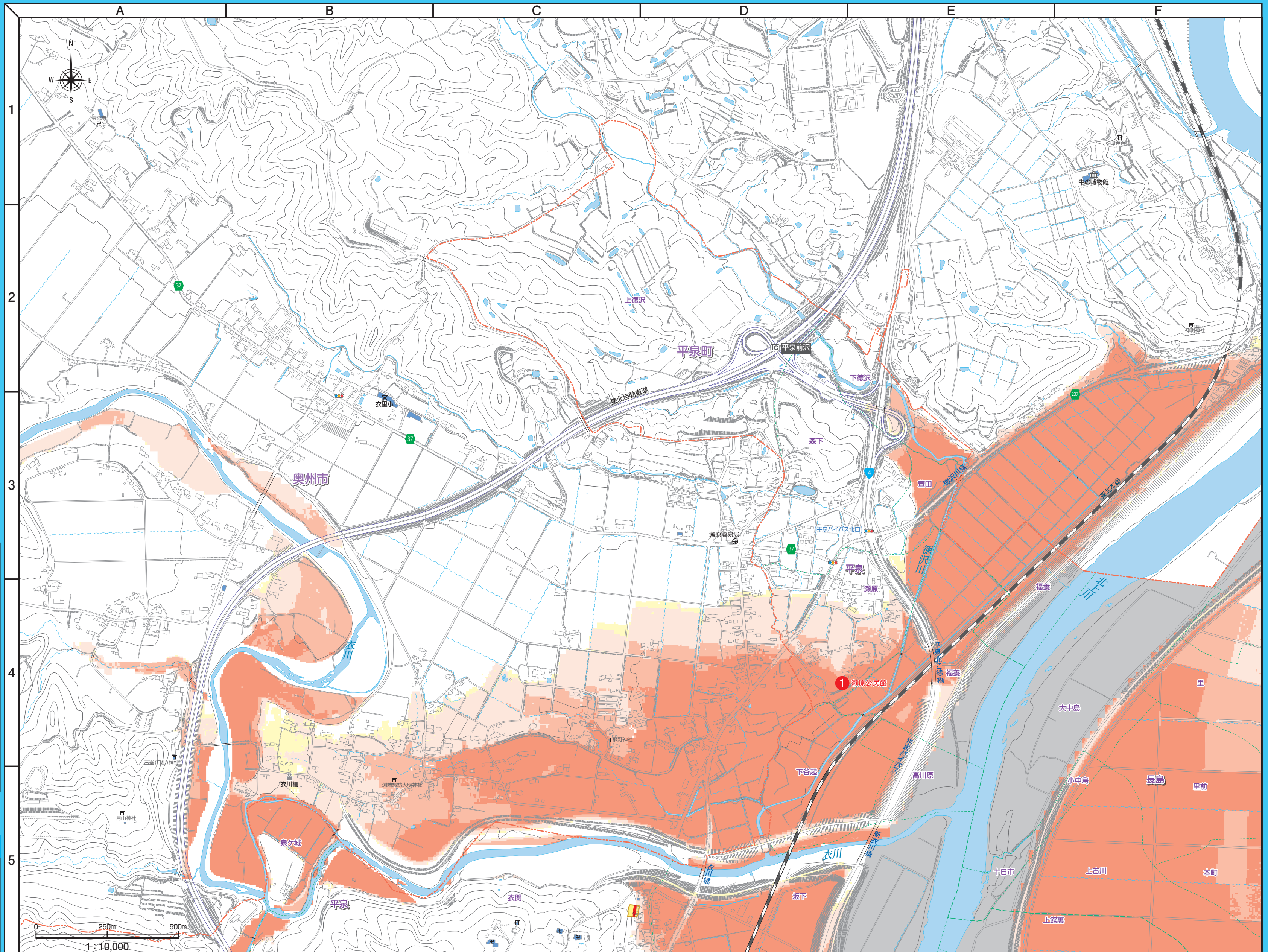
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



1	2
4	5

土砂災害 凡例

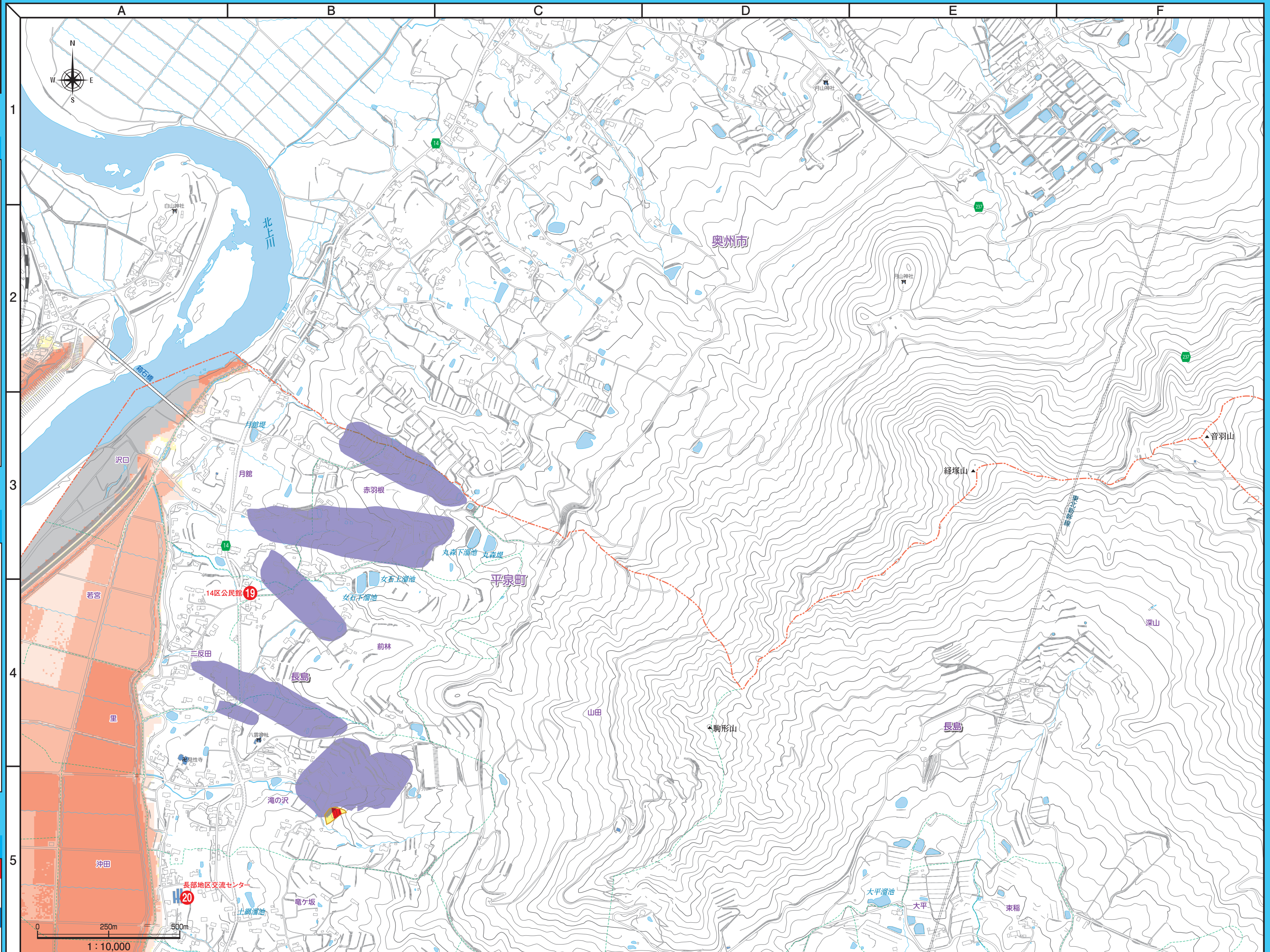
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



	1
6 カット	3
6	7

土砂災害 凡例

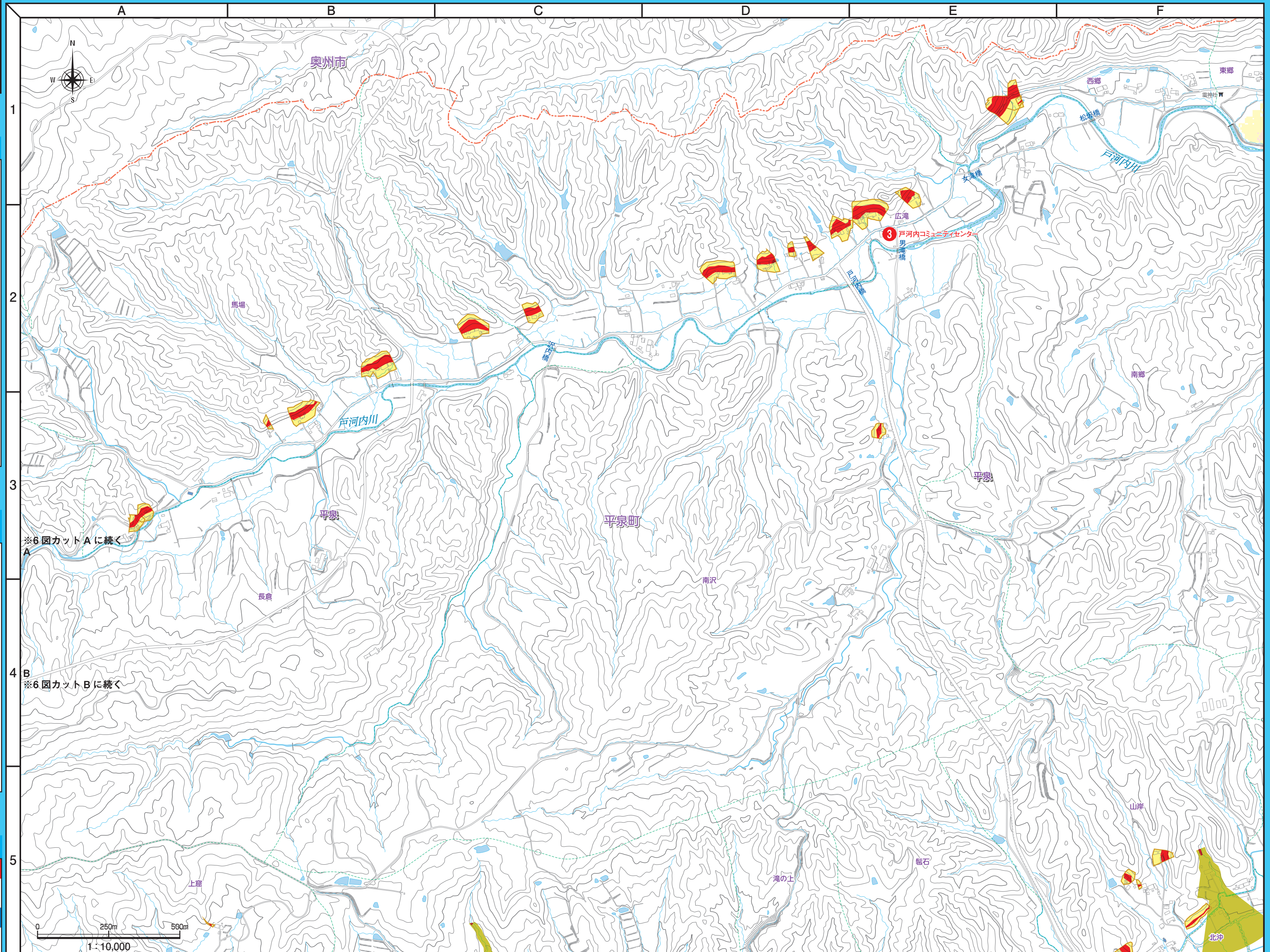
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害  
最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



	1	2
3	4	5
6	7	

土砂災害 凡例

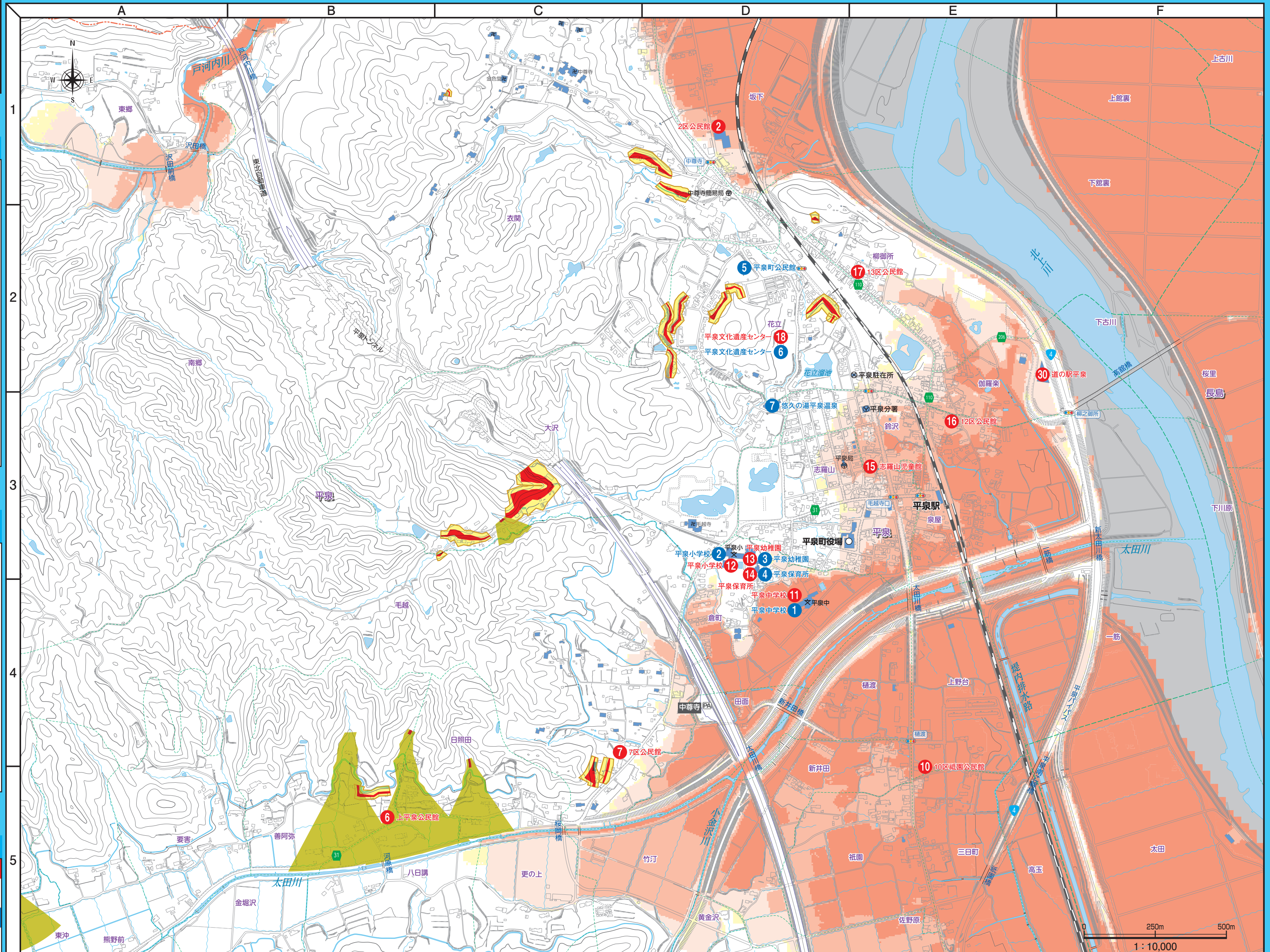
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



1	2
4	5
7	

土砂災害 凡例

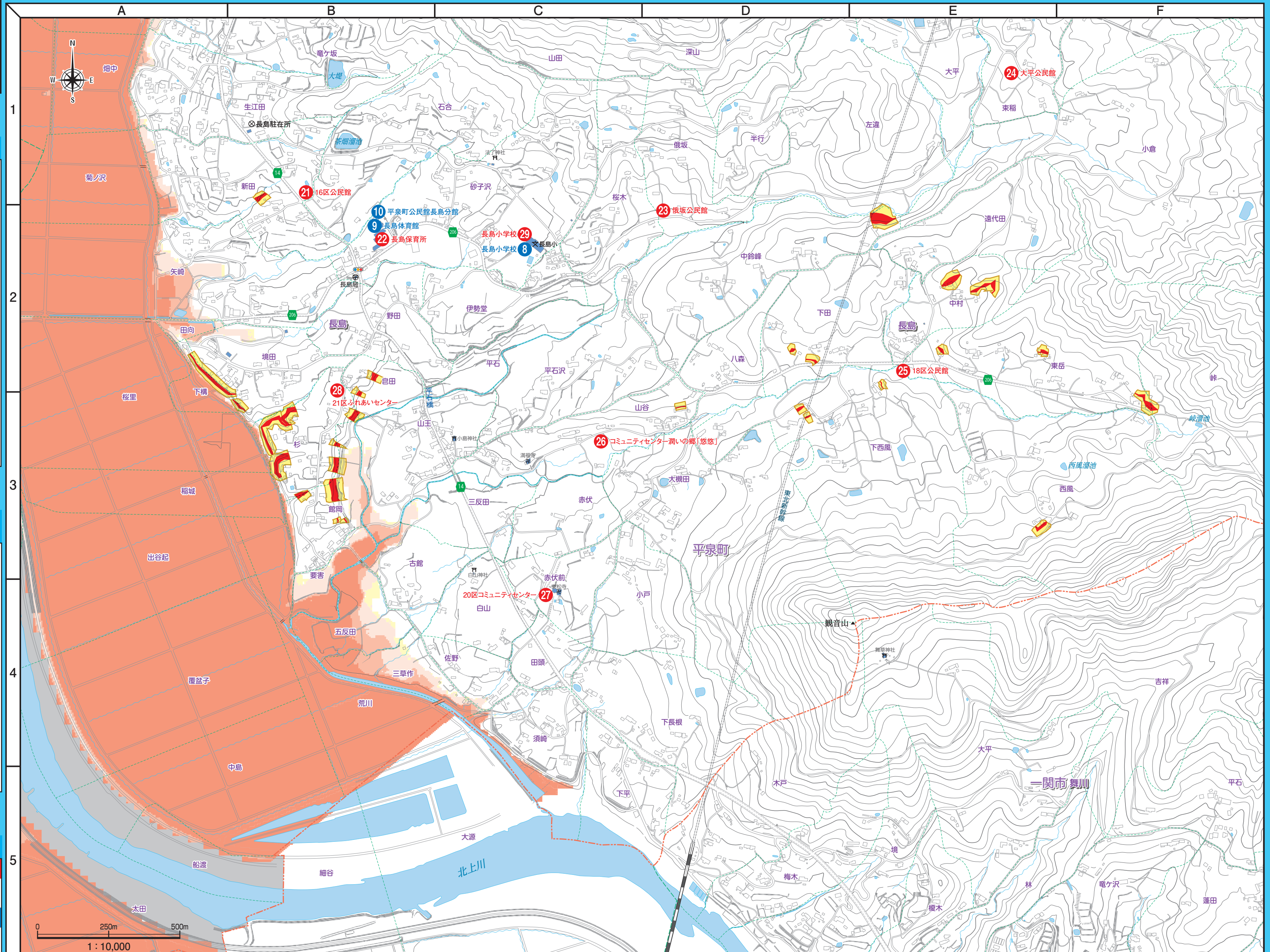
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



6 カット	3	4
	6	7

土砂災害 凡例

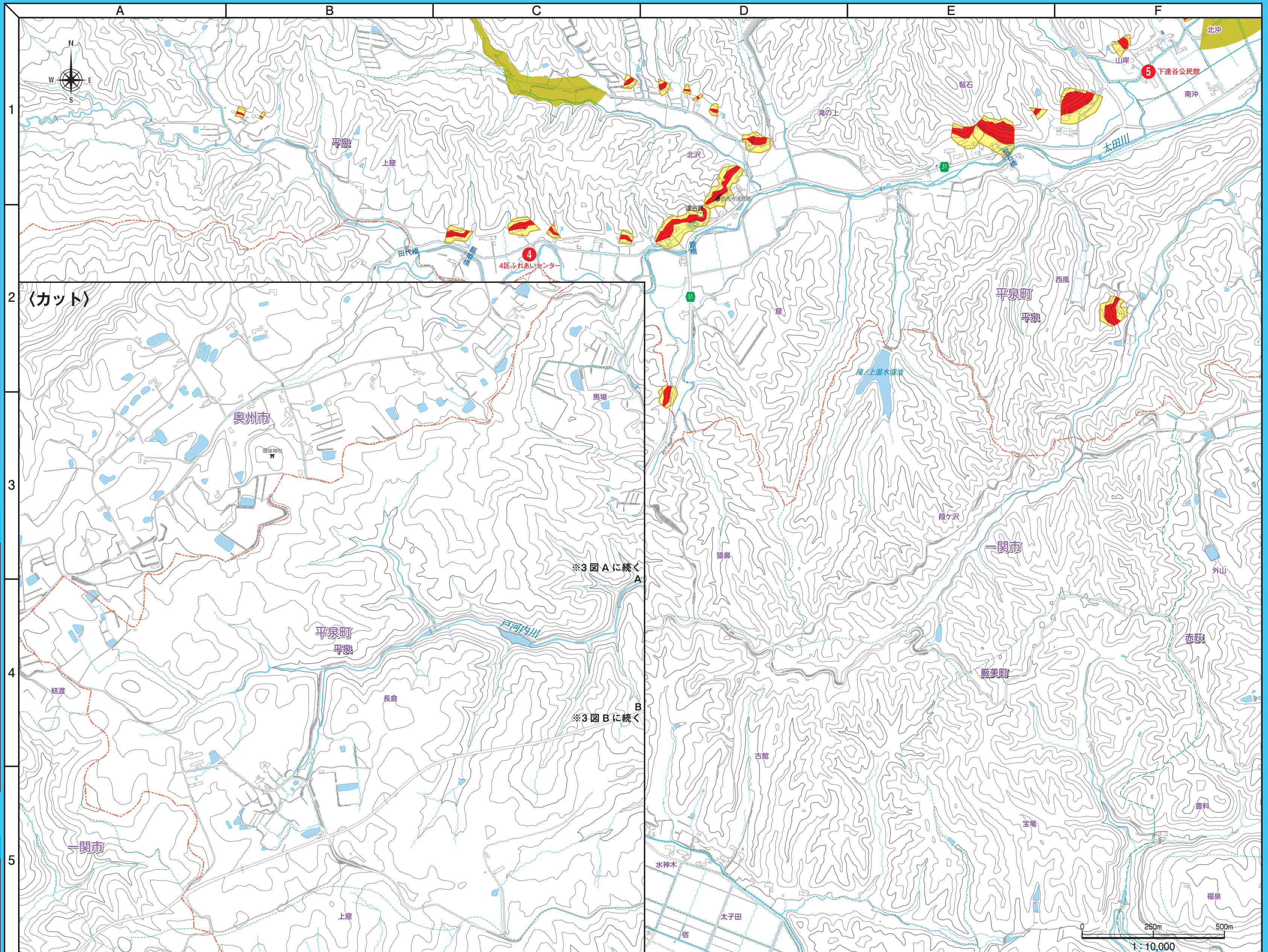
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



3	4	5
6	7	

土砂災害 凡例

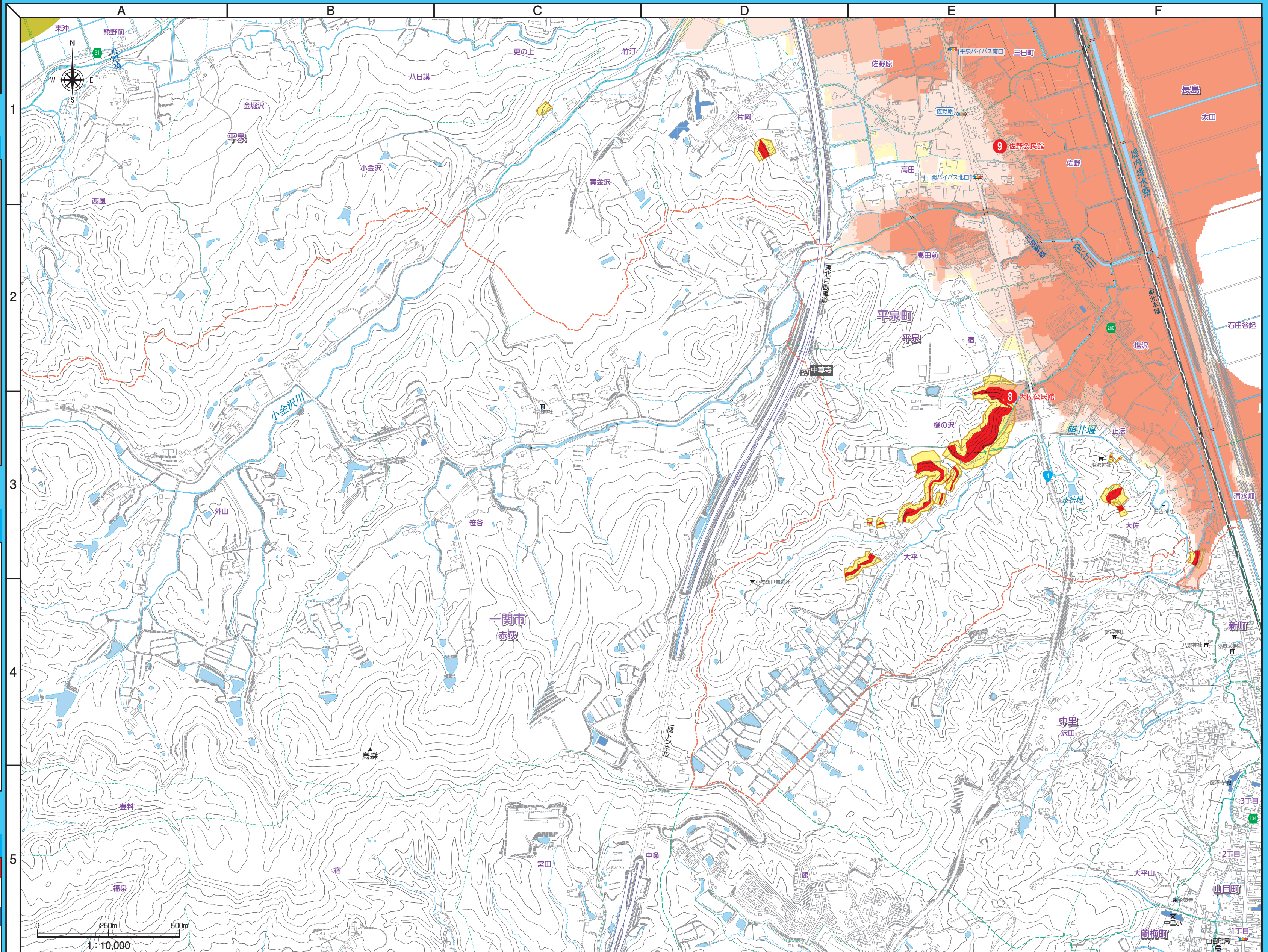
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

洪水災害 最大浸水想定 凡例

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満

避難所 凡例

- 平泉町指定緊急避難場所
- 平泉町指定避難所



## 防災情報収集方法

### 国交省「防災情報提供センター」

- <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- 携帯電話から <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

### 国交省「川の防災情報」

- <https://www.river.go.jp/>

### 気象庁

- <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

### 盛岡地方気象台

<https://www.data.jma.go.jp/morioka/index.html>

### 平泉町ホームページ

<https://www.town.hiraizumi.iwate.jp/>

### 岩手防災情報ポータル

<https://iwate.secure.force.com/>



## 災害用伝言ダイヤル

### 災害用伝言ダイヤルとは？

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号

伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号

伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで

伝言蓄積数 1電話番号当たり20伝言まで

利用可能電話 加入電話、INSネット(ダイヤル式を除く)、  
公衆電話、ひかり電話(ダイヤル式を除く)、  
携帯電話

## 防災関係機関連絡先

平泉町役場 0191-46-2111

平泉町役場建設水道課 0191-46-5569

一関保健所 0191-26-1415

県南広域振興局土木部 0197-22-2881

岩手河川国道事務所 019-624-3131

一関警察署 0191-21-0110(代)

一関西消防署平泉分署 0191-46-0119

東北電力(停電・緊急時) 0120-175-366

NTT東日本(緊急時) 0120-444-113

**【緊急時】 警察 110 消防 119**

## 平泉町防災マップ 令和3年3月

発行 平泉町 総務課  
平泉町平泉字志羅山45-2  
TEL 0191-46-5540  
FAX 0191-46-3080

制作・著作 株式会社ゼンリン 盛岡営業所  
盛岡市中央通2丁目1番21号  
TEL 019-622-7230  
FAX 019-622-2115

無断で複写、転載することをご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は、岩手県知事の承認を得て5,000分の1地形図を使用したものである。」(平成30年2月6日森整第703号)

「この地図は、平泉町長の承認を得て、測量成果を使用して調整したものである。」(平成30年11月7日平建第255号)

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、2万5千分の1地形図、数値地図50mメッシュ(標高)及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平30情使、第584号)」

本文中の地図は、弊社2019年3月発行の平泉町住宅地図のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。